

至誠の会 レポート 03 vol.03

動き始めた施策と 変わりゆく前橋。

先進的な取り組みで“新しい政治モデル”を築く!!



前橋が輝くことで、群馬県さらには日本全体に光を充てる

～群馬の会(5月17日開催)での挨拶より抜粋～

暮らしを支えるべき政治が、人々の生活の中でいかに機能しているか、どのように役立っているのかを示し、実感してもらうことが私達の長年の夢でした。今、少しづつではありますが前橋市政の中でそれが実現しつつある、そのような手応えを感じています。

振り替えれば10年前、「残りの人生を社会のために捧げよう」と決意し、政治活動を継続しながら今日まで歩んで参りました。前橋市長に就任して5年。「前橋が実施している様々な取り組みが先進事例として世間に認識され、新たな政治モデルとして他の自治体が後を追ってくれる。それによって必ず群馬、さらには日本が良くなってくれる。それによって必ず群馬、さらには日本が良くなってくれる。

いくはすだ」という想いを常に抱きながら、日々の業務に臨んでいます。

私は、この前橋と市民の皆様に対して、全力で責任を果たしていく所存です。この5年間で数えきれないほどの施策を講じてきました。その勢いをさらに加速させ、前橋、さらには群馬県に新しい光を充てることができればいいと思っています。そのためにひとつお願いです。市民の皆様のひとり一人が、それぞれの立場で活躍していくことが、本当の意味で前橋の改革や発展につながります。どうぞ、今後とも積極的な市民活動への参加・協力をお願い申し上げます。

動き出す、まちづくり～新たな価値の創造へ～

【中心市街地の再開発】

前号でも紹介しましたが、前橋の中心市街地に様々な変化が起こりつつあります。企業の力もお借りしながら、人が住み、暮らし、集まる中心市街地へと生まれ変わろうとしています。賑わいの復活には右の5点が重要だと私は考えています。

そこで、前橋市では「中心市街地活性化基本計画」を作成し、多方面から人を呼び込むための施策を講じています。

賑わい復活のための5つのポイント

- ① 中心市街地の住人を増やす
 - ② アクセスし易い交通
 - ③ 商店の魅力アップ
 - ④ イベントの集客効果をあげる連絡調整機能
 - ⑤ 家族で出かけられる、出かけたくなる環境の整備

● 広瀬川

① 広瀬川テラス構想

新しい価値の創造の場として「広瀬川テラス構想」に取り組み始めました。これによって、JR前橋駅から広瀬川までの間に大きな変化が起こる可能性が高まりました。きっと3年後には大きな変化が生まれているでしょう。



庄瀬川テラス構想イメージバー3

②岡本太郎作・太陽の鐘

世界的な芸術家・岡本太郎氏が制作した、高さ6mの造形作品「太陽の鐘」が日本通運様より前橋市に寄贈されることになりました。修復費用については、有志団体である太陽の会が負担してくださいます。「太陽の鐘」は整備を予定している広瀬川河畔に設置することにしました。広瀬川の新たな名所になることでしょう。



記者発表の様子

●本町五差路の改善

前橋市本町2丁目五差路の改善にも取り組み始めています。同所は渋滞の発生、歩行者交通の妨げなどの問題に20年近く悩まされてきましたが、それらを解消すべく、ついに事業化へと動き始めたのです。地下道(アンダーパス)を建設し、立体化する案などをベースに検討を進めています。



県都の街づくり前進

●朔太郎生家の移築

前橋が誇る詩人、萩原朔太郎の生家の一部を保存した「朔太郎記念館」を今春、敷島公園から広瀬川河畔に移築しました。原稿や愛蔵品を展示する前橋文学館との距離も近づいたことで利便性が向上し、さらなる観光誘客が期待できます。



【赤城山南麓エリア】

●赤城山ツーリズムの推進

赤城山麓には広大な中山間地が広がっています。さらには自然・環境重視農業を営む農家や個性的な6次産業化食品が生産されています。自然や農林業に携わる方々の力を結集し、アグリツーリズム（都会の人たちが農場や農村で自然体験を通じて休暇・余暇を過ごすこと）による赤城振興を目指していきます。

- ①農林水産物を介した通じた活動
(加工品つくり、産直・直売所など)
- ②イベント
(ふるさとまつり・農林まつり、環境保全活動など)
- ③農林業・農村体験
(市民農園、田植え・稲刈り、植林体験、下草刈りなど)
- ④学校教育における農村や農林業とのふれあい
などの田舎暮らしの実体験

赤城山ツーリズム



●前橋を「スローシティー」に！

赤城山南麓エリアの自然を活かした観光誘客を図るために、“スローシティー”を目指していきます。

“スローシティー”とは、地域の文化を尊重し、環境保護や地産地消を進める国際的な運動のことです。前橋市はこの考えに賛同し、国際団体に加盟申請しました。認定されれば宮城県気仙沼市（2013年4月）以来、国内2カ所目となります。

市民の皆様に対しても、まだその意味を広める努力を始めたばかりです。まずは目的や意義を市民全体で共有することが大切だと思っています。元々、赤城山では、農業生産を通じた地域食文化の継承、森林資源の活用や山菜採りなどが盛んです。そこにあるものを皆で磨き上げて豊かな地域づくりに臨んできたのですから、“スローシティー”的考え方のもと、赤城山麓の暮らしを前橋の新たな宝にすることを目指しています。

景観条例、薪ストーブの補助、新しい6次産業化の農業、地産地消、農家や古民家民泊、体験型観光などをこれまで以上に推進していきたいと思います。昔、糸井重里さんがTV番組の企画で赤城山の埋蔵金を探していましたが、赤城に眠る『宝』はこのような形で存在していたのです。



「スローシティー」目指す

市内のニュース

タイガーマスク運動の河村さんと面会 前橋市としても独自の支援事業を実施

CITY NEWS

児童養護施設などにランドセルなどを贈る「タイガーマスク運動」の先駆けとなった河村正剛（まさたけ）さんと面会し、意見交換をさせていただきました。河村さんの子供達を想う気持ちと考えに賛同するとともに、施設を出た後の子供達へのアフターケアを充実させる必要があると強く思いました。

そこで、前橋市では児童養護施設出身者の自立を支援するために、「タイガーマスク運動支援事業」を実施します。主に高校3年生を対象に、自立支援金として15万円を支給するというものです。この事業を皮切りに、進学支援や運転免許取得支援なども前向きに検討していきたいと思います。同じような境遇にある子供達を平等にサポートしていくためにも、このような支援事業が他の地自体へ拡大していくことを期待しています。



行財政改革に一定の効果 “やり繰り”しながら安定した 財政運営を目指します

市長に就任してからの5年間、古い建物のリフォーム、清掃工場や体育館も新築ではなく改修で対応し、ハコモノを建てる事なく進めて参りました。（※小中学校の耐震化や区画整理事業など、首長の任期を超えて何代にもわたって進められてきた事業については継続しています）とにかく、就任以来“やり繰り”を徹底してきたのです。その甲斐あって、行財政改革においても一定の成果が表れています。

その一方、大きな自主財源である地方交付税は段階的な縮減に入っています。これまでの減少分は財政調整基金等の積立金の活用でまかなっていましたが、基金は災害等の緊急時に備えて一定規模を維持することが必要であることを考えると、その活用にも限界があると考えています。つきましては、将来的に安定した財政運営のためにも、交付税の減少に合わせた事業の見直しを早急に進めたいと考えていますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

前橋市行革 16億円効果	
昨年度、27施策で達成率40%	目標を含めるなら達成率を最高
改革推進計画（見込み）を公表し、約1億8千万円の経費削減と、約4億3千万円の歳入確保を達成。約1億3千万円の財政効率を上げた結果	前橋市は2月日、「行財政改革実績結果（見込み）」を公表。28年度は職員数の適格化した
（約1億5千万円）や勤労育少年ホームと勤労女性センターの統合（約2千700万円）で経費削減、歳入財	改革推進計画（見込み）を公表し、約1億8千万円の経費削減と、約4億3千万円の歳入確保を達成。約1億3千万円の財政効率を上げた結果
当者は、歳入歳出予算の実績	前橋市は2月日、「行財政改革実績結果（見込み）」を公表。28年度は職員数の適格化した

山本龍 政党支部活動支援団体

「至誠の会」入会のお願い

課題が山積する前橋市政に政治生命をかけて取り組むという山本市長の政治活動を侧面から支援しております。本趣旨にご賛同頂ける皆様に、ぜひご入会賜りたくご案内申し上げます。

会費：月額3,000円(年額36,000円)
詳細は後援会事務局までお問い合わせ下さい。

山本龍後援会事務所

〒371-0022

前橋市千代田町2丁目7-19 ユーアイ井上ビル2階

TEL: 027-219-1005 FAX: 027-219-1006

HP: <http://www.yamaryu.net/>